

吉祥寺南病院を受診された患者さまへ

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明・同意を得て実施をします。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用い研究等については、国が定めた指針に基づき「対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありません」が、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要とされております。

このような手法を「オプトアウト」と言います。オプトアウトを用いた臨床研究は下記の通りです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている各研究の担当者までお知らせください。

研究課題名)	基本動作指標（Basic Movement Scale : BMS）の内的妥当性研究
当院の研究責任者 (所属)	高橋 泰（国際医療福祉大学 医療経営管理分野 教授）
本研究の目的	基本動作指標（BMS）の因子構造及び次元性を検討する
調査データ該当期間	2015年1月1日から2017年9月30日までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	対象となる患者様 上記期間内に脳梗塞、脳出血、大腿骨頸部骨折で2週間以上入院された患者様 利用する情報 診療録に記載のある診療記録、検査データを利用します
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は論文等での学術発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
資料・情報の保管と 廃棄	<u>研究期間中の及び終了後のデータについては、外部記録メディアにデータ保存しメディアは吉祥寺南病院内の特定の箇所に鍵をかけて保管します。保管期間は平成37年3月31日迄とします。その後は、外部記録メディア自体を初期化しデータを破棄します。</u>
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：0422-45-2161 担当者：後藤 隆太郎